

## 8/12 (水) ハンガリーとの友好に

ふるさと支援センター TAKIBI で、ハンガリー女子マウンテンバイク代表のバーバラ・ベンケー選手とのオンライン交流会が行われました。これは、東京オリンピックでハンガリーのホストタウンである本市との友好関係の継続を目的に行われたもので、参加した児童の質問に、バーバラ選手は笑顔で答えるなど交流を深めました。

バーバラ選手は「1年延期を前向きに練習に励んでいる」と近況を報告し、児童らは「オリンピックでのバーバラ選手の活躍を全力で応援したい」と話していました。



▲オンライン交流会の様子  
(左から)  
矢板小6年の室井 裕  
樹さんと渡邊 遙さん、  
県内在住マウンテンバイク  
競技者(小6)の菊地  
心晴さん

## 8/21 (金) 安全安心な道づくり

主要地方道矢板那須線(下伊佐野地区)、塩谷喜連川線(玉田地区)で、「とちぎの道現場検証」が行われました。これは、道路関係者(矢板土木事務所・警察・市)、地元区長、学校関係者が合同で現場を確認し、整備の必要性を共有するもので、連続するカーブでの凍結時のスリップの危険性や歩道整備による通学児童などの安全確保について検証を行いました。

区長などからは「朝夕は交通量が多く、大型車も目立つ。1日も早い整備をお願いしたい」との声が聞かれました。



▲主要地方道矢板那須線  
(下伊佐野地区)  
◀主要地方道塩谷喜連川線  
(玉田地区)

## 8/28 (金) 夜の街で注意喚起

飲食店などが多く立ち並ぶ JR 矢板駅西口および東口周辺で、県と市、商工会の連携により新型コロナウイルス感染防止対策徹底の呼びかけを行いました。この活動は、接待を伴う飲食店をはじめ、飲み会や会食などでの感染拡大が続いている状況を踏まえ実施されたもので、8月28日(金)・29日(土)の2日かけて約20店舗の飲食店を回りました。

市長は「市内の飲食店の状況を直に見ることができた。今後も感染防止対策の徹底に努めながら営業活動を行ってほしい」と話していました。



## 8/29 (土) 将来の夢は林業に

林業・木材製造業労働災害防止協会栃木県支部が実施した林業基礎トライアル研修に、初めて矢板高校の生徒が参加しました。この研修は新規担い手の確保を目的に行われているもので、林業体験と刈払機取扱作業者の資格が取得ができる内容となっており、その受講費用の一部を市林業・木材産業成長化推進協議会が補助しました。

参加した生徒からは「刈払機の操作方法を学んだり、伐採現場での造材を体験することで林業のイメージが湧いた。将来は林業分野に就職したい」と話していました。



▲県民の森(県有林内草地)で行われた刈払機操作の実技研修  
◀高原林産企業組合の指導のもと行われた伐採現場の造材体験